

呉工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	科学英語表現法Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0002		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	プロジェクトデザイン工学専攻		対象学年		専1		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	理科系のための実戦英語プレゼンテーション						
担当教員	市崎 一章						
到達目標							
1. 発表資料の作成方法と発表手法を習得 2. 国際学会での「質疑」および「応答」の手法の習得 3. 学習する語彙を習得 4. リスニング能力の向上 5. 明瞭な発音 6. 曖昧性の無い正確な作文とその口頭伝達							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		発表資料の作成方法と発表手法を習得		発表資料の作成方法と発表手法を理解		発表資料の作成方法と発表手法を理解不十分	
評価項目2		国際学会での「質疑」および「応答」の手法の習得		国際学会での「質疑」および「応答」の手法の理解		国際学会での「質疑」および「応答」の手法の理解不十分	
評価項目3		曖昧性の無い正確な作文とその口頭伝達ができる		曖昧性の無い正確な作文とその口頭伝達法を理解した		曖昧性の無い正確な作文とその口頭伝達ができない	
学科の到達目標項目との関係							
専攻科 (SA)							
教育方法等							
概要		科学技術に関する国際的な研究発表で、正確かつ的確にメッセージを伝えることを目的とする。具体的には発表資料の作成方法やプレゼン方法を理解し、それらの適切な発信方法を身に付ける。リスニングおよびスピーキング演習を行うが、それとは別に、eラーニング教材であるALC Net Academy 2 も利用して、TOEICのスコアアップも目指す。					
授業の進め方・方法		テキストおよびマルチメディア教材を用いた演習を基本とする。					
注意点		自分の研究に自信を持ち、まずは、文法は気にせず、とにかく大きな声で発話すること					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	概要説明、プレゼンの心構え		プレゼンの心構え		
		2週	プレゼンの基礎		国際会議における発表の基本構成と時間配分、パワポのコツ		
		3週	プレゼンの実例と準備のコツ 1		タイトル、概要、緒論・方法・結果・考察・結論		
		4週	プレゼンの実例と準備のコツ 2		タイトル、概要、緒論・方法・結果・考察・結論		
		5週	プレゼンの実例と準備のコツ 3		タイトル、概要、緒論・方法・結果・考察・結論		
		6週	プレゼン演習 1		演習		
		7週	プレゼン演習 2		演習		
		8週	質疑応答 1		よくある質問とその答え方、質問の予想と回答の準備		
	4thQ	9週	質疑応答 2		よくある質問とその答え方、質問の予想と回答の準備		
		10週	質疑応答演習 1		演習		
		11週	国際会議の大原則 1		語 研究所訪問時の英会話、email英語、国際電話英語		
		12週	国際会議の大原則 2		語 研究所訪問時の英会話、email英語、国際電話英語		
		13週	国際会議の大原則 3		語 研究所訪問時の英会話、email英語、国際電話英語		
		14週	期末試験				
		15週	答案返却・解答説明				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	3		
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	3		
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	5		
			英語運用能力の基礎固め	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	5	後7	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	5		
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	5		
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	5		

				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、 200語程度の簡単な文章を書くことができる。	5		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	0	0	0	30	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0